

外国につながる子どもを取り巻く教育課題と支援のかたち

— 学校・地域・社会の役割を考える —

講座内容

日本に在住する外国人の増加に伴い、日本の学校で学ぶ外国籍児童生徒等の人数も過去10年間で1.9倍に増加し、公立学校だけでも約6万7千人(令和5年度末現在)の日本語指導の必要な児童生徒が在籍しています。多様な言語、文化的背景を持った彼らが希望を持って日本の学校で学ぶことができるようになるためにはどのような指導や手立てが必要なのでしょう。また、どのような心構えで接していくべきなのでしょう。まず現状を把握し、サポート体制や海外の事例も紹介しながら、考えていきます。

期 間	5月16日～6月6日	受講料	すべて受講する場合 6,000円 1回だけ受講する場合 2,000円
曜 日	土曜日	定 員	30名 ※最少催行人数7名
時 間	10:00～12:00	会 場	関内アカデミック・リサーチセンター
回 数	全4回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が配布資料を用意します。		
備 考	●この講座は5月8日(金)までに中止の連絡がなければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容	担当講師
1	5月16日(土)	イントロダクション 日本における外国籍児童生徒の状況や課題について学びます。政府や自治体の施策についても触れます。	細谷 早里
2	5月23日(土)	外国につながる子どもを支える地域の取り組み 外国につながる子どもに関する多様な課題について、学校やNPO 団体においてどのような取り組みが模索されているのかを、具体的な事例を取り上げながら学びます。	藤浪 海
3	5月30日(土)	外国につながる子どもへの日本語教育 日本語指導と教科指導をつなげ、学内外の学習支援体制をどう構築できるか考えます。外国につながる子どもの学びと成長を支える実践と課題を共有します。	楊 廷延
4	6月 6日(土)	総括 外国につながる子ども達の課題とどう向き合っていくか、学校や地域社会はどのように支援していくことができるかについて、海外の事例なども交えながら考えていきます。	細谷 早里

講師紹介

Peatix講座への
アクセスはこちら



細谷 早里(ほそや さり)

本学経済学部教授
博士(教育学)、異文化間教育



藤浪 海(ふじなみ かい)

本学社会学部准教授
博士(社会学)、国際社会学・移民研究



楊 廷延(ヤン ジョンヨン)

本学国際文化学部准教授
日本語教育